



第99期 中間報告書

2023.3.1 ▶ 2023.8.31



イオングループ未来ビジョン

一人ひとりの笑顔が咲く
未来の暮らしを創造する

イオン株式会社

証券コード：8267



トップメッセージ



株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第99期中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

2024年2月期の上期（2023年3月1日から2023年8月31日）における国内経済は、人々の往來がこれまでの活気を取り戻し、各地での催し物の復活、インバウンド需要の高まりを見せるなど、本格的なポストコロナを迎えました。国内消費が活発化する一方で、昨年来の急激なインフレを背景とした物価高は、地域生活者の日々の暮らしに大きな影響を与えています。

こういった環境の中、当社は、中期経営計画（2021～2025年度）で掲げた成長戦略の実効性を高めることで、上期連結決算は、営業収益、営業利益ともに増収増益となり、過去最高を更新しました。

「デジタル」の取り組みでは、2023年7月10日に最新のデジタル技術と機能を活用したオンラインマーケット事業 Green Beans（グリーンビーンズ）を開始しました。AIによる提案機能が備わったパーソナライズされた買い物体験をご提供しているほか、温度管理が徹底された高鮮度の生鮮品に加え、まとめ買いに対応した大容量品など、最大5万品目で構成されています。従来のネットスーパーの概念を

変え、多様化するお客さまのライフスタイルにお応えした、新しい買い物体験をご提供してまいります。

「商品」については、当社のプライベートブランドであるトップバリュの取り組みを推進いたしました。物価高で家計負担が増す中、生活必需品を中心に生活応援のメッセージを打ち出す一方で、独自価値の高い新商品の開発を強化することで、お客さまからのご支持をいただきました。多くのお客さまに支えられ、本年度のトップバリュの売上高は、1兆円を上回る見込みです。また、MZ世代といった若年層をターゲットにした新商品が好調に推移しており、下期も新商品を積極的に投入することで、トップバリュの新たなファン獲得につなげてまいります。

「環境・グリーン」においては、脱炭素社会の実現に向け、各地域にある太陽光発電所で発電した再生エネルギーを全国のイオンモールへ供給する「まちの発電所」の展開エリアを順次拡大しています。また、ご家庭内で発電した余剰電力をご来店時のEVを介してイオンモールの放電スポットに供給いただく「V2AEON MALL」の取り組みが本年5月より稼働しました。引き続き当社は、地域のお客さまとともに、サステナブルな社会の実現を目指してまいります。

イオンは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。」という基本理念のもと、絶えず革新し続ける企業集団として「お客さま第一」を実践してまいりました。不確実性が高く混沌とした時代だからこそ、自社の判断軸となる基本理念やビジョンといった価値観に基づく経営が一層に重要になってくると考えています。いつの時代も揺るがない基本理念を企業の根底に持ち、時代を先んじていく新たなビジョンのもと、中期経営計画を着実に実行していくことが、持続可能で健全な企業成長につながっていくものと考えています。株主さまをはじめ、多くのステークホルダーの方々からの共感を生み出し、いつの時代も期待され、応援される企業を目指してまいります。

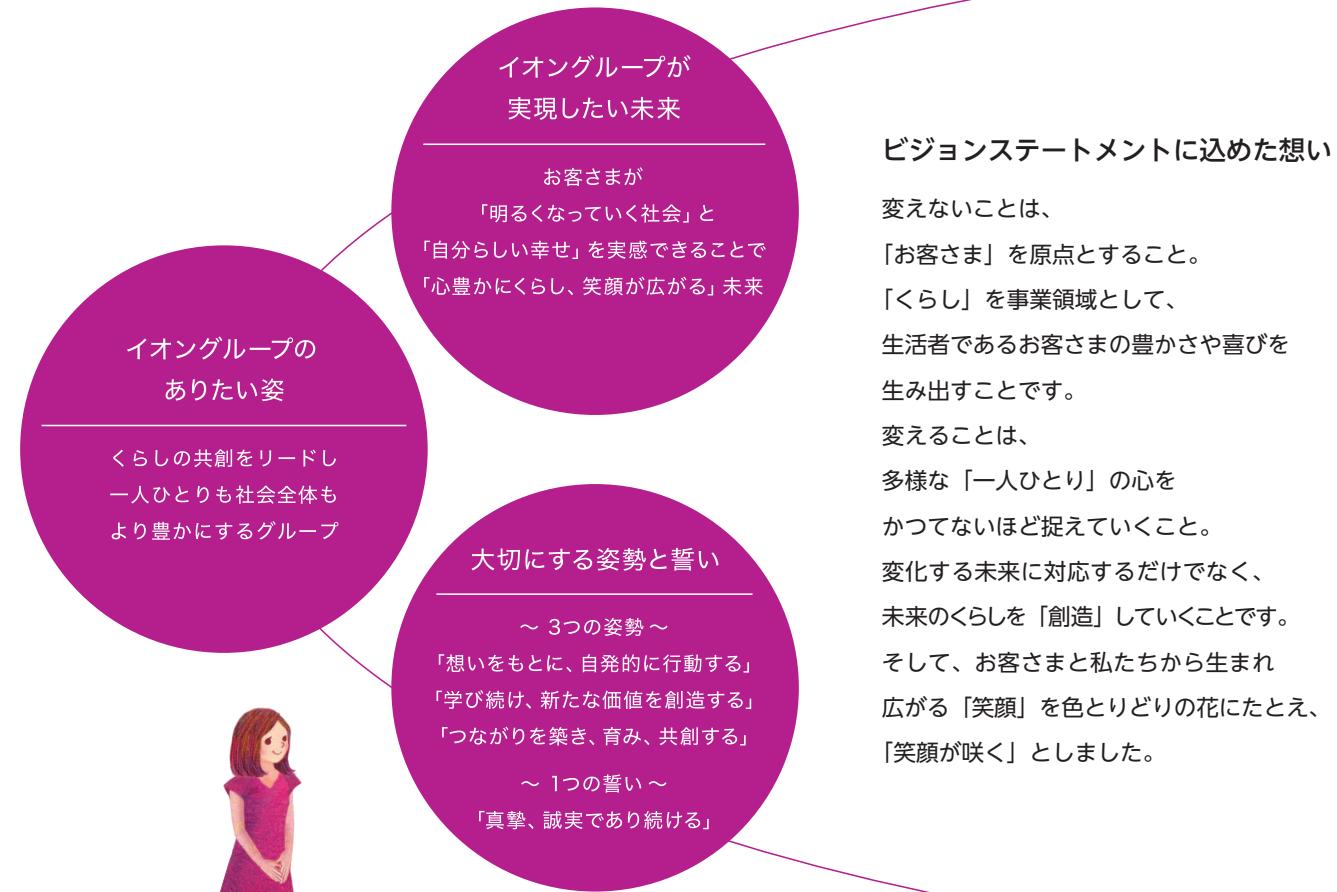
株主の皆さまにおかれましては、変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

取締役 代表執行役社長 **吉田昭夫**

イオングループ未来ビジョン

ビジョンステートメント

一人ひとりの笑顔が咲く 未来の暮らしを創造する



ビジョンステートメントに込めた想い

変えないことは、
「お客さま」を原点とすること。
「くらし」を事業領域として、
生活者であるお客さまの豊かさや喜びを
生み出すことです。

変えることは、
多様な「一人ひとり」の心を
かつてないほど捉えていくこと。
変化する未来に対応するだけでなく、
未来の暮らしを「創造」していくことです。
そして、お客さまと私たちから生まれ
広がる「笑顔」を色とりどりの花にたとえ、
「笑顔が咲く」としました。

「イオングループ未来ビジョン」に関して詳しくはこちら

https://www.aeon.info/company/code_of_conduct/



イオンの基本理念

お客さまを原点に

平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。

イオンは、小売業が平和産業であり、人間産業であり、

地域産業であると信じ、

その使命を果たす企業集団として 永続するために、

お客さまを原点に絶えず革新し続けてゆきます。(*)

イオンの基本理念をすべてのステークホルダーに共感していただけるよう、本年の定時株主総会では、イオンの基本理念をナラティブ（語り口調）にして定款に加える提案をご承認いただきました。創業以来決して変わらない基本的価値観と使命を含むイオンの基本理念の一つひとつの言葉には、岡田卓也名誉会長相談役の実体験を原点とするイオンの想いが込められています。本紙面では、イオンの基本理念に込められた想いをご紹介します。

お客さまを原点に絶えず 革新し続けてゆく

「大黒柱に車をつけよ」

三重県四日市の久六町で創業した岡田屋が、明治20年に南町一番屋敷に移転したころに生まれた家訓です。「世の中の変化、お客さまの(くらしの)変化に対応して政策をどんどん変えよ」。お客さまを第一に考え行動し、そのためには絶えず革新し続けることの教えです。



大正期の岡田屋

※ ナラティブを含めた基本理念の全文は、右記サイトよりご確認ください。

「イオンの基本理念」に関して詳しくはこちら

<https://www.aeon.info/company/concept/>



平和を追求し

戦後初の大売り出しのチラシを手にして店頭に並べられたお客さまの「やっと平和になりましたね」と涙ぐむ姿に小売業の繁栄は平和の象徴と確信し、小売業は平和の維持に貢献していかねばならないと決意しました。



戦後初の大売り出しのチラシ

人間を尊重し



第1回ジャスコ大学開講式
(1969年)

「小売業は“人間くさい”産業」です。その「人」を活かすことこそ小売業の繁栄につながると信じ、岡田屋は従業員の可能性を信じて人材育成に力を入れました。

地域社会に貢献する

小売業は地域社会に根差した「地域産業」であり、我々だけが繁栄していくのではなく、地域とともに繁栄するものです。その地域やそこで培われていたコミュニティが維持、発展できるよう守っていくことが小売業の使命です。



寄贈した桜が咲く岡崎公園
(愛知県岡崎市)

イオン歴史館のご案内

イオンの創業をはじめ、基本理念の成り立ちなどを、長年にわたる歴史を通してステークホルダーの皆さまに広くお伝えしている施設です。VR機能を使って、オンラインでご見学できますので、是非ご覧ください。



「イオン歴史館」に関して詳しくはこちら

<https://aeonhistoricalmuseum.jp/>



岡田名誉会長相談役 旭日大綬章を受章



イオン(株)名誉会長相談役岡田卓也が令和5年春の叙勲において、小売業の近代化と発展への貢献が認められ、旭日大綬章を受章しました。

岡田卓也名誉会長は地域社会がより豊かになることを願い、小売業の発展に尽力する一方、環境保全活動や地域文化の振興、社会貢献活動などを積極的に行い、「イオン環境財団」「イオンワンパーセントクラブ」「岡田文化財団」の3つの公益財団法人を設立、その発展と拡大に努めるなど平和で豊かな社会づくりに尽力し続けています。

受勲・受賞一覧

- 1985年 藍綬褒章受章
全米小売業者協会(NRMA)
国際小売業者賞受賞
- 1986年 貿易表彰(内閣総理大臣表彰)受賞
台湾經濟部獎牌受賞
- 1989年 大英勲章 C.B.E. 受章
- 2007年 カンボジア王国 Le Grand Officer受章
タイ王国勲三等ディレクグンナポーン章受章
- 2009年 北京市榮譽市民章受章
- 2010年 カンボジア王国 Le Grand Cross受章
- 2017年 ベトナム ハノイ市名誉市民章受章
- 2023年 旭日大綬章受章

買物を変える。毎日を変える。

最新のデジタル技術と機能を活用したイオンの新しいオンラインマーケット「Green Beans」

2023年7月、イオンネクスト(株)は最先端CFCを物流拠点とするオンラインマーケット事業「Green Beans (グリーンビーンズ)」のサービスを千葉県、東京都の一部地域で開始しました。AIとロボットを駆使した最先端のオペレーションとロジスティクス、パーソナライズされた快適な注文操作、徹底されたコールドチェーンによる高い鮮度管理など、これまでにないカスタマーエクスペリエンスを実現します。

● 施設概要
敷地面積：72,634㎡ 建築面積：33,612㎡ 延べ面積：51,584㎡



AIを活用したオペレーション ピッキング

注文が入ると、最大約1,000台のロボットが秒速4mで移動し、生鮮食品や加工食品、日用品など最大約5万品目の商品の中から6分間で50個の商品をピッキングしていきます。ピッキングもシステム化されており、商品がつぶれたり傷んだりしないよう重いものや固いものを先に、また常温、冷蔵、冷凍の順番でピックアップするようプログラムされています。



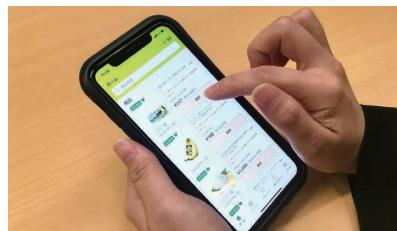
AIを活用したオペレーション 最適な配送ルート検索



お客さまが注文された段階で、配送のルート計算が始まり、同じ地域のお客さまがどれくらいの商品を購入されて、どのように配車するのがもっとも効率的かをAIが最適化することで、配送効率上がり、集中する時間帯でも最大限多くの配送枠をお客さまに提供可能です。この配送のルート計算には、1秒間で1,400万通りのルート計算を行う英国のオカド社のAI技術によって最適に選択されています。朝7時から夜23時まで1時間単位でお届けが可能です。

豊富な商品 最大約5万品目の商品を品揃え

オンラインマーケットならではの強みと独自AIを活かすことで豊富な品揃えを実現しています。独自の高性能AIによって在庫数を徹底管理し、商品が品切れになるのを最小限に抑えています。生鮮品はもちろん、ミールキットや冷凍食品、大容量パック、日本各地の名産品や輸入食材などバラエティに富んだ商品をご用意しています。商品選びや献立決めが楽しくなるよう熟練バイヤーがこだわりを持って取り揃えました。



● 新鮮な商品をお届けするために

野菜は産地から倉庫までのリードタイムを可能な限り短縮し、配送時も温度管理された荷室をもつトラックで運搬することで、お客さまの手元に高鮮度なまま商品をお届けします。

また、パッケージは野菜の特性に合わせ、鮮度維持に最適な通常の市販品とは異なる特別仕様のものを採用しています。



1週間鮮度保証は「鮮度+」のマークのある商品が対象です。



Green Beansを支えるラストワンマイル 真心込めて、お客さまにお届けします。

お客さまの満足度を決めるポイントの一つは、商品をお渡しする瞬間です。お客さまとのリアルでの接点は、商品をお届けするわずか数十秒。お客さまのサービスに対するイメージは、すべてここで決まります。このブランドイメージを創る重要な部分を担当するのが、イオンネクストデリバリー(株)のデリバリーグループ(ドライバー)です。教育や研修をしっかりと受けた自社のグループが商品をお届けします。また、お客さまからのご意見やご要望を伺い、商品やサービスの改善に活かしていく役割も担っています。



詳しくはこちら <https://greenbeans.com/> Green Beans 検索





グループトピックス

イオン、いなげや、ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングスが経営統合に向けた基本合意書を締結

4月、競争が激化する首都圏地域で「関東における1兆円のSM構想」を進めるべく、イオン(株)、(株)いなげやおよびユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス(株)(U.S.M.H)は、いなげやがイオンの連結子会社としてイオングループに参画し、2024年11月を目途にU.S.M.Hといなげやの経営統合の実現に向けた基本合意書を締結しました。グループが有する資産を最大限活用するとともにスケールメリットを活かした新たなビジネスモデルを構築し企業価値の最大化を図ってまいります。



イオンウエルシア九州の第1号店「ウエルシアプラス大野城若草店」オープン



4月にイオンウエルシア九州(株)の第1号店「ウエルシアプラス大野城若草店」がオープンしました。調剤併設型ドラッグストアと生鮮食品・お弁当・お惣菜まで揃えたスーパーマーケットが融合した地域の健康ステーションを目指す新しいスタイルの店舗です。イオンウエルシア九州は、地域の皆さまの「ココロ」と「カラダ」の健康に寄り添いWell-being(ウェルビーイング)の実現に向け新たなビジネスモデルの構築を進めてまいります。

イオンのシニアケア事業「MySCUE」を開始

イオンリテール(株)は9月、シニアケア事業「MySCUE」(マイスキュー)を開始しました。「MySCUE」は、シニアケアや介護に必要な“情報”に着目し、これから増加していく家族のシニアケアや介護に携わる方に役立つ情報・商品・サービスへ容易にアクセスできるプラットフォームを提供するほか、会員を対象とした相談・質問の場を設けるなど、シニアケアにまつわるさまざまなコミュニティスペースを運営してまいります。より安心してシニアケアや介護と向き合える環境をつくり、社会課題の解決を支援してまいります。



詳しくはこちら <https://myscue.com/>



「イオンモールロジプラス シハヌークビルFTZロジスティクスセンター」開設

イオンモール カンボジアロジプラスは、新たに取り組む物流事業の拠点となる「イオンモールカンボジア シハヌークビルFTZロジスティクスセンター」倉庫を開設しました。自社運営による、通関から倉庫業務までのシームレスなオペレーションで物流のリードタイムを削減し、メコン地域の中心という立地を活かした域内在庫の集約で商品を安定供給するなど、新たな物流ソリューションを提案してまいります。

※FTZ (Free Trade Zone) : 関税制度上、「外国」とみなすことで保税制度の適用が認められる地区



自然とともに優しい未来へ「トップバリュ グリーンアイ」誕生30周年



1993年にイオンのプライベートブランド『グリーンアイ』として誕生した『トップバリュ グリーンアイ』が、おかげさまで30周年を迎えました。オーガニックとナチュラルの2シリーズを展開しており、「トップバリュ グリーンアイオーガニック」は、日本の小売業が展開するプライベートブランドにおけるオーガニック商品で最大規模となるブランドへ成長しました。2025年度までに国内のオーガニック食品市場における「トップバリュ グリーンアイオーガニック」のシェア30%を目指しています。

国内最大規模の需要予測・発注システム「AIオーダー」を導入

イオンリテール(株)は5月より、独自開発した需要予測・発注システム「AIオーダー」をイオン、イオンスタイルなど約380店舗に導入しました。「AIオーダー」は、お客さまの人数と商品の需要予測をもとに最適な発注数を自動で提示し、発注時間を平均で5割削減します。予測精度も曜日や価格などの機械学習で既存システムと比べ最大40%改善し、生産性を飛躍的に向上します。店舗データのデジタル化や需要予測で発注の最適化を進め、物流課題の解決や商品開発などのサプライチェーンのDXをさらに推進してまいります。



トルコ・シリア大地震への支援で合わせて3億8,079万4,614円を寄付



2月にトルコ・シリア国境付近で発生した地震への支援募金「トルコ南東部地震緊急支援募金」を全国のグループ店舗で実施し、お寄せいただいた1億7,252万6,477円に当社からの支援金を加え、計2億7,970万4,708円を3月に駐日トルコ共和国大使館に寄付いたしました。また、イオングループが寄付を行っている(公財)イオンワンパーセントクラブでは、駐日トルコ共和国大使館に支援金1,000万円とともに、厳しい寒さの中ご負担が和らぐよう、毛布6千枚、寝袋2千枚を寄付いたしました。また第2弾として、「トルコ・シリア大地震緊急支援募金」を実施し、全国のグループ店舗などにお寄せいただいた募金に当社からの支援金

を加えた計1億108万9,906円を5月に日本ユニセフ協会に寄付いたしました。(公財)イオンワンパーセントクラブからも、子どもたちのサポートのために3,500万円を寄付しました。イオンでは、被災した方々が一日も早く平常の生活に戻れることを願っております。



財務データ

営業収益、営業利益、経常利益は過去最高を更新しました。

当第2四半期累計期間の連結業績は、営業収益4兆7,113億35百万円(前年同期比105.0%)、営業利益1,176億23百万円(同122.7%)、経常利益1,119億6百万円(同117.4%)と、いずれも過去最高を更新しました。原材料価格の高騰やロシアによるウクライナ侵攻、円安などを原因とする物価上昇が続き、高付加価値商品と値ごろ感のある商品への消費の二極化が顕著となる中で、全報告セグメントが増収となりました。営業利益については貸倒引当金繰入額が増加した総合金融事業が減益となりましたが、主力の小売事業であるGMS(総合スーパー)、SM(スーパーマーケット)、DS(ディスカウントストア)、ヘルス&ウエルネスの各事業では、収益性の高いプライベートブランドの拡販、デジタルを活用した生産性の向上やコストコントロールにより、またディベロッパー事業、サービス・専門店事業ではコロナ下対比で客足の回復が進み増益となりました。

連結要約損益計算書(単位:億円)

科目	前中間期 2022.3.1 ~ 2022.8.31	当中間期 2023.3.1 ~ 2023.8.31
営業収益	44,871	47,113
営業利益	958	1,176
経常利益	953	1,119
親会社株主に帰属する 四半期純利益	180	233

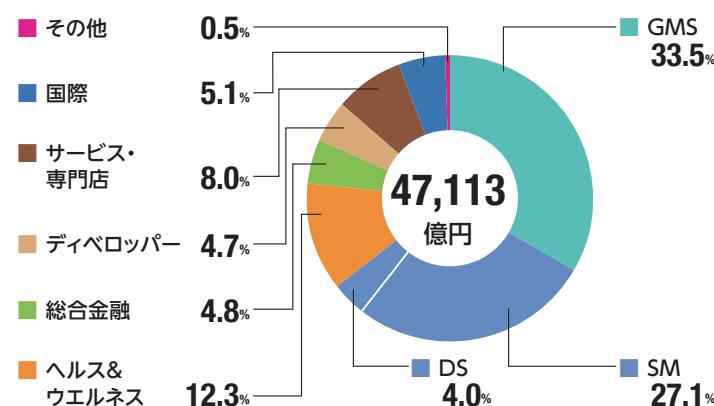
事業のセグメント情報(2023.3.1~2023.8.31)(単位:億円)

	営業収益	営業利益
GMS事業	16,710	36
SM事業	13,538	164
DS事業	2,004	42
ヘルス&ウエルネス事業	6,137	242
総合金融事業	2,376	216
ディベロッパー事業	2,332	250
サービス・専門店事業	4,018	116
国際事業	2,547	58
その他事業	279	△38
調整額	△2,833	87
連結損益計算書計上額	47,113	1,176

連結要約貸借対照表(単位:億円)

	前期末 (2023年2月末)	当中間期 (2023年8月末)
資産合計	123,415	127,558
(流動資産)	76,817	79,435
(固定資産)	46,597	48,123
負債合計	103,712	106,953
純資産合計	19,702	20,604
(株主資本)	9,084	9,140

事業別営業収益 構成比率



GMS(総合スーパー)事業

イオンリテール(株)は、「荒利益額の最大化」「ショッピングセンター収益改善」「デジタル売上拡大」を実行しながら、さまざまなコスト上昇に耐えうる経営基盤を構築すべく「収益構造改革」を推進しました。イオン九州(株)は、「食の強化」「非食品分野の専門化」「DXの推進」「環境・地域社会への貢献」、イオン北海道(株)は、「商品と店舗の付加価値向上」「地域との連携」「収益構造の改革」などの取り組みをそれぞれ推進しました。その結果、営業利益が改善し増益となりました。



SM(スーパーマーケット)事業・DS(ディスカウントストア)事業

ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス(株)は、商品と店舗変革による店舗収益の拡大、OMO(Online Merges with Offline)による店舗外収益の拡大、保有する知的財産を活用したビジネス領域の拡大を柱とする3カ年の中期経営計画に着手しました。(株)フジでは、常にお客さま視点で最新ニーズへの対応に注力するとともに、廃棄ロスやコストの削減による各段階利益の最大化を目指しています。またマックスバリュ東海(株)では、地域に根差した店舗づくりや、商品サービスの提供に注力しました。



ヘルス&ウエルネス事業

ウエルシアホールディングス(株)および同社連結子会社は、外出需要の増加を背景に既存店売上高は堅調に推移し、調剤部門においては、調剤併設店舗数の増加(当第2四半期連結会計期間末現在2,070店舗)により、処方箋受付枚数が増加しました。店舗のエネルギー消費低減に向けた取り組みや、自動発注の推進による店舗業務の効率化により、経費適正化に努めました。



総合金融事業

イオンフィナンシャルサービス(株)は国内および海外において、グループ共通ポイントを活用した利便性の向上、モバイルサービスの拡充、新規事業の創出など、中長期的な成長に向けた投資および基盤整備を進めるとともに、デジタル金融包摂の進展に取り組んでいます。国内カード有効会員数は3,118万名(期首差36万名増)となり、カードショッピング取扱高は堅調に推移しました。海外では消費活動の回復に伴いカードショッピングおよび個品割賦の取扱高の増加が続きました。



ディベロッパー事業

イオンモール(株)は、2030年ビジョン「イオンモールは、地域共創業へ。」に基づき「つながる」を創造し、広げ、深め、持続可能な地域の未来につながる営みを共創する企業を目指しています。国内では、外出機会が増え、消費トレンドが急速に回復する中、イベントを実施してファミリー層の集客強化を図った結果、既存モール専門店売上は伸長しました。海外においては、アセアン、中国とも、コロナに伴う行動規制が大幅に緩和され、消費トレンドは回復基調にあります。



サービス・専門店事業

イオンデライト(株)は、顧客内シェアの拡大、これまで蓄積してきた実績やノウハウを活かし、新たに多種多様な施設においてサービスの提供を開始しました。(株)イオンファンタジーは、積極的な新店を続けるカプセルトイレ部門とプライズ部門に加え、メダル部門も好調に推移しました。(株)キャンドゥは、当社グループとの協業によるシナジーを発揮するため、「販路の拡大」「商品・ブランドの差別化」「企業価値の向上」を掲げ、お客さま満足の上昇を図る取り組みを強化しました。



国際事業

イオンマレーシア(AEON CO.(M)BHD.)は、集客施策に注力し、必需品を中心に価格訴求してお客さまの生活視点に合わせた対応を進めています。また、ネットスーパーの売上高は前年同期比3割増で推移しています。イオンベトナム(AEON VIETNAM CO.,LTD.)は、食品やH&BCの生活必需品の好調が続き、上期の売上高は増収となりました。中国においては、ゼロコロナ政策の解除により客数が回復し、衣料品の売上高が増加傾向にあるほかイオン湖北は売上高、営業利益ともに好調を維持しています。

詳しい決算概況については、下記URLまたは右記QRコードより当社サイトをご覧ください。

<https://www.aeon.info/ir/>



株主優待のご案内

AEON OWNER'S CARD

イオン オーナーズカード

毎日のお買物がおトク！
3・4・5・7%の還元

オーナーズカードをご提示いただき、現金、WAON（イオンの電子マネー）、イオンマークのカードによるクレジット払い、イオン商品券、イオンギフトカードでご精算いただくと、対象となるお支払金額合計に対し、ご所有株式数に応じた返金率をかけた金額を半期毎にまとめて還元します。

*半年で家族カードご利用分と合わせ最高100万円までのお買物が還元対象になります。
*ご利用の際は、必ずお支払いの前にオーナーズカードをご提示ください。
*金券、ギフト券、イオンマークのカード以外のクレジット払いやWAONPOINT払い、その他各種ポイントでのお支払は還元の対象になりません。

長期保有株主優待制度

3年以上継続し1,000株以上の株式をご所有の株主さまにイオンギフトカードを進呈いたします。

*2月末日および8月末日の株主名簿に同一株主番号で7回以上連続して記載された株主さまが対象になります。

2月末時点保有株式数	ギフトカード金額	
1,000株～1,999株	2,000円	※毎年2月末時点で3年以上継続保有する株主さまに5月末頃発送
2,000株～2,999株	4,000円	
3,000株～4,999株	6,000円	
5,000株以上	10,000円	

2023年10月よりiAEONアプリでのオーナーズカードご利用サービスを開始しました。

従来のオーナーズカードにくわえ、イオンのトータルアプリiAEONでオーナーズカードがご利用いただけるサービスを新たに開始しました。ご利用をご希望の株主さまは、iAEONアプリをダウンロードいただき、オーナーズカードの会員情報等をあらかじめご登録いただくことで、ご利用可能になります。ご登録後は、半年に一度のオーナーズカードの特典還元はWAON POINTでお受け取りに変更になります。なお、ご登録は株主ご本人さまのみとなります。また、イオンラウンジのご利用登録をされている会員さまも、あらためてご登録が必要になりますのでご了承ください。

● iAEONアプリ版オーナーズカードは、一部の店舗ではご利用いただけません。

詳しくは、右記のウェブサイトをご確認のうえご利用ください。 <https://www.aeon.info/ir/stock/benefit/iaeon>



持株数とご返金率



AEON LOUNGE

特別なお客さまのためのくつろぎ空間

オーナーズカード会員さまにイオンラウンジのサービスをご用意しております。iAEONアプリ内のイオンラウンジのアイコンをタップしカード情報をご登録いただき、アプリ内で事前にご予約いただくことで、ご利用いただけます。

なお、iAEONにご登録いただけるのは、株主ご本人さまのみとなります。

ラウンジサービス内容のご案内

- 会員専用空間で休憩
買い物の合間に特別空間でおくつろぎ
- 事前予約で、待ち時間無し
2週間先まで事前予約可能
- 無料のドリンクサービス
イオンならではのドリンクでほっと一息

事前予約制

利用可能回数

月5回/1日1回30分

同伴者

1名さままで

スマホでのご予約方法 ご登録いただけるのは株主ご本人さまのみとなります。

1 イオンのトータルアプリ iAEON をダウンロード

案内に従い、iAEON会員登録



無料ダウンロードはこちら

スマホでのご予約は初回に番号入力すると、次回以降番号入力の必要はありません。

2 アプリ内のイオンラウンジアイコンを選択



3 ラウンジ利用番号 (オーナーズカード番号) の登録



「ラウンジ利用番号を入力」の欄にオーナーズカード番号をご入力ください。(ハイフンなし11桁)

4 事前に予約
予約完了後、チェックインQRコードが表示



5 ご来店・受付
店頭タブレットにてQRコードをスキャン (アプリ表示または発行レシート表示)



店頭でも番号入力によりご予約が可能です。予約毎に番号入力が必要です。

イオンラウンジ (利用方法、店舗一覧) について詳しくはこちら

※利用規約・注意事項をご確認のうえ、イオンラウンジをご利用ください。 <https://www.aeon.com/aeonapp/service/lounge/>





会社情報/株式情報

会社概要 (2023年8月31日現在)

社名	イオン株式会社 (AEON CO., LTD.)
設立	1926年9月
事業内容	小売、ディベロッパー、金融、サービスおよびそれに関連する事業を営む会社の株式または持分を保有することによる当該会社の事業活動の管理
資本金	2,200億7百万円
本社	〒261-8515 千葉県美浜区中瀬一丁目5番地1

取締役 (2023年8月31日現在)

取締役	岡田 元也 (取締役会議長 指名委員 報酬委員)
取締役	吉田 昭夫
取締役	羽生 有希
社外取締役	塚本 隆史 (指名委員会議長 報酬委員会議長 監査委員)
社外取締役	ピーター チャイルド (指名委員 報酬委員)
社外取締役	キャリアー ユー (監査委員)
社外取締役	林 眞琴 (監査委員会議長)

執行役 (2023年8月31日現在)

代表執行役会長	岡田 元也
代表執行役社長	吉田 昭夫
執行役副会長	藤田 元宏
執行役副社長	羽生 有希 デジタル担当
執行役副社長	渡邊 廣之 人事・管理担当 兼 リスクマネジメント担当
執行役副社長	土谷 美津子 商品担当
執行役	松本 忠久 ヘルス&ウエルネス担当
執行役	神尾 啓治 SM担当
執行役	大池 学 DS担当
執行役	岡崎 双一 アセアン担当
執行役	四方 基之 戦略担当
執行役	尾島 司 事業推進・ブランディング担当
執行役	江川 敬明 財務・経営管理担当
執行役	手塚 大輔 物流担当
執行役	後藤 俊哉 中国担当
執行役	大野 恵司 マレーシア担当
執行役	古澤 康之 ベトナム担当

株式の状況 (2023年8月31日現在)

発行可能株式総数	2,400,000,000株
発行済株式総数(自己株式を含む)*	871,924,572株
単元株式数	100株
総株主数	914,794名

*自己株式は、14,847,733株です。

大株主(上位10名) (2023年8月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	117,196千株	13.67%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	37,899千株	4.42%
株式会社みずほ銀行	33,292千株	3.88%
公益財団法人岡田文化財団	21,947千株	2.56%
公益財団法人イオン環境財団	21,811千株	2.54%
農林中央金庫	18,133千株	2.12%
STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234	12,233千株	1.43%
イオン共栄会(野村証券口)	12,109千株	1.41%
イオン社員持株会	12,075千株	1.41%
東京海上日動火災保険株式会社	10,061千株	1.17%

注：持株比率は、自己株式(14,847,733株)を除外して計算しています。

株主メモ

決算期	2月末日
基準日	期末配当、定時株主総会 2月末日 中間配当 8月末日 (その他必要がある場合には、あらかじめ公告いたします)

定時株主総会 5月末日までに開催

公告方法 電子公告
ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
(アドレス) <https://www.aeon.info/ir/>

上場証券取引所 東京証券取引所

株主名簿管理人 〒100-8233
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先(電話照会先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-782-031(フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っています。

※住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座にて管理されている株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

※未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

5月26日 第98期 定時株主総会のご報告

第98期 定時株主総会を2023年5月26日(金)に幕張メッセ国際展示場で開催し、定款の一部変更と取締役7名の選任に関してご承認をいただきました。会場にくわえ、ご自宅などからもご質問や議決権行使が行えるインターネット出席型の株主総会を開催しました。これからも、より多くの株主の皆さまがご参加いただける株主総会の開催を目指してまいります。なお、イオンは来年、株式上場から50年を迎えます。株主の皆さまには、引き続きご支援とご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。



- 来場および視聴参加の総株主数: 1,675名
- 開催日時・場所: 2023年5月26日(金) 10時~11時59分 幕張メッセ国際展示場

IRサイトのご案内

株主総会や決算説明会の状況、株主優待の最新情報などは、当社IRサイト「株主・投資家の皆さま」でご確認いただけます。

<https://www.aeon.info/ir/stock/meeting/>



2023年度 中間期の配当について

2023年10月11日の取締役会決議により、1株当たり18円とさせていただきます。期末配当金は、18円を予定しており、年間配当は、36円となる見通しです。なお、中間期の配当金のお支払開始日は、2023年10月30日とさせていただきます。



サービス開始のお知らせ

オーナーズカードを iAEON に登録するとますます便利に！

2023年10月から

① アプリ版オーナーズカードがお買物の際にご利用できます。

- お持ちのスマートフォンに、iAEONアプリをダウンロードし、オーナーズカード情報を登録することで、ご利用が可能になります。
- ご利用の際は必ず会員コードのスクランが必要です。➔



2024年4月から

② WAON POINTでお受け取り

- iAEONにご登録いただくと、半期に一度の株主優待の還元がWAON POINTでのお受け取りになります。



WAON POINT

※ iAEONアプリにWAONPOINTカードなどの登録が必要です。

- スマートフォンにiAEONアプリのダウンロードが必要になります。
- イオンラウンジのご利用登録をされている会員さまもあらためてご登録が必要になります。
- ご登録いただけるのは株主ご本人さまのみです。ご家族の方のご利用はできません。
- iAEONへの登録後も、お持ちのオーナーズカードは引き続きご利用いただけます。

iAEONでの登録方法に関するお問い合わせ先

オーナーズカードサポートセンター

050-3460-4488

受付時間
9:00～18:00
(期間中無休)

iAEONアプリ版オーナーズカードのご利用方法など詳しくは、当社ウェブサイトにてご確認のうえご利用ください。



<https://www.aeon.info/ir/stock/benefit/iaeon>



木を植えています

私たちはイオンです



この報告書は、FSC®認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。